

INFO-HIRO-21

第453号 2018年7月17日
弘前大学総務部総務広報課

博士論文公聴会のお知らせ

弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程機能創成科学専攻の博士論文公聴会（予定）

日時：平成30年8月22日（水）10：20～11：20
場所：理工1号館4階の7番講義室
学位申請者：Chahtou Amina(シャハトウ アミナ)
論文題目：アルミナからアルミニウムへの炭素熱還元プロセスの研究
(Study on Carbothermal Reduction Process from Alumina to Aluminum)

問い合わせ先：弘前大学理工学研究科 機能創成科学専攻（併任）伊高 健治
Tel: 017-762-7760
E-mail: itaka@hirosaki-u.ac.jp

イベントのお知らせ

電子情報通信学会電子部品・材料（CPM）研究会開始のお知らせ

主催：電子情報通信学会電子部品・材料（CPM）研究会
共催：弘前大学理工学部電子情報工学科

日時：平成30年8月9日（木）14：30～16：45
平成30年8月10日（金）9：30～11：45
会場：総合教育棟405号室

議題：電子部品・材料，一般

開催プログラムと参加費については下記のURLをご覧ください。

学生（聴講のみ）の参加費は無料です。

URL：<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?instsoc=IEICE-C&tgid=CPM>

教員，学部学生，大学院生等，興味のある方の御参加をお待ちしております。

問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科・中澤日出樹（内線3557）
E-mail hnaka@eit.hirosaki-u.ac.jp

平成30年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル」～自分らしく過ごすためにできること～

開催のお知らせ

弘前大学医学部附属病院が主催で、一般市民を対象に平成30年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル」～自分らしく過ごすためにできること～を開催いたします。

がん患者やその家族の視点に立った情報提供を推進するとともに、がんになってもそれと共生できる社会の構築を目指し、正しいがんの情報を提供いたします。

1. 日 時 : 平成30年8月26日(日) 12:30~16:30 (開場12:00~)
2. 場 所 : 土手町コミュニティパーク多目的ホールA/B ポム広場
〒036-8182 青森県弘前市土手町31番地
3. 内 容 : 第1部 体験:「がん患者さんのための運動教室」
講演:「青森県におけるがんに関する情報と取り組み」
情報提供:「がん相談支援センターの役割」
講演:「緩和ケアについて」
第2部 体験:「がん患者さんのための運動教室」
市民サークル 津軽カタリスト:「(朗読劇)はしれメロス」
ヨガインストラクター:「いつでもどこでもかんたん椅子ヨガ」
4. 対 象 : 一般市民
5. 入 場 料 : 無料
6. 事前申込 : 不要
7. 問い合わせ先 : 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター
TEL: 0172-39-5174 (直通)

平成30年度 みんなで知ろう!
がんフェスティバル
～自分らしく過ごすためにできること～

日程 8月26日(日) 会場 土手町コミュニティパーク
時間 12:00~16:30 参加費 無料

プログラム
12:00~12:30 開場
12:30~12:45 講演「青森県におけるがんに関する情報と取り組み」
12:45~13:00 情報提供「がん相談支援センターの役割」
13:00~13:15 講演「緩和ケアについて」
13:15~13:30 体験「がん患者さんのための運動教室」
13:30~14:00 市民サークル 津軽カタリスト「(朗読劇)はしれメロス」
14:00~14:30 体験「がん患者さんのための運動教室」
14:30~15:00 ヨガインストラクター「いつでもどこでもかんたん椅子ヨガ」
15:00~16:30 閉会

お問い合わせ先 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター TEL・FAX 0172-39-5174 (直通)

弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会「世界を照らすLED」のお知らせ

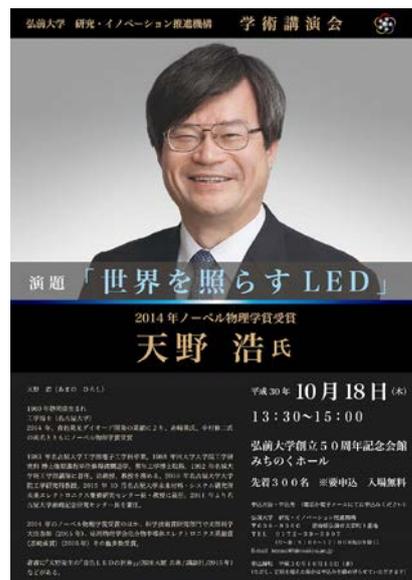
学術的に著名な識者を弘前大学に招き、学術講演会を開催することで、学内教職員の研鑽意識を高めるとともに、学生にレベルの高い学習機会を提供すること、また、学外へも広く周知し、地域還元することを目的として下記のとおり弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会を開催します。

本講演会では、2014年ノーベル物理学賞受賞 名古屋大学大学院工学研究科教授 天野 浩氏をお招きして御講演いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成30年10月18日（木）13:30～15:00
- 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
(先着300名 ※要申込)
- 講 師：2014年ノーベル物理学賞受賞
名古屋大学大学院工学研究科教授 天野 浩 氏
- 演 題：「世界を照らすLED」
- 詳 細：<http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/20181018-kouenkai>
- 対 象：一般の方，教職員，学生
- 申 込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上、
以下の電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。
- 申込締切：平成30年10月10日（水）
(ただし、定員を超えた場合は申込みを締め切らせていただきます。)
- 入場料：無料

【問い合わせ・申込み先】弘前大学 研究・イノベーション推進機構

T E L : 0172-39-3907 E-mail : kensui@hirosaki-u.ac.jp
H P : <http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/>



「日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)」開催のお知らせ

日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)の開催をご案内します。詳しくは下記URLをご覧ください。多くの方々のご参加をお待ちしております。

会 期：平成30年11月3日(土)～11月4日(日)
会 場：弘前大学 創立50周年記念会館
U R L：<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/sccj2018autumn/>

研究発表主題： ・ 計算化学（分子軌道法，分子力学法，分子動力学法，モンテカルロ法など）

- ・ 理論化学（電子状態理論など）
- ・ 情報化学（データベース，ケモメトリックスなど）
- ・ 数理化学，コンピュータ支援化学教育，その他コンピュータ化学に関する研究

特別講演会「生物の遠隔計測と触覚提示技術」開催のお知らせ（再掲）

一般社団法人 日本機械学会
ロボティクス・メカトロニクス部門第1地区技術員会

URL <http://sites.google.com/site/robomech02/>

企画 ロボティクス・メカトロニクス部門

共催 弘前大学大学院理工学研究科

弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティア

一般社団法人 次世代センサ協議会 東北支部

開催日 2018年8月1日（水） 16:00～18:00

会場 弘前大学理工学部1号館5階 第10講義室（青森県弘前市文京町3）

<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/info/access.html>

プログラム

(1) 16:00～17:00

「RTと環境駆動で生物の謎に迫る」

講師：妻木 勇一（山形大学大学院理工学研究科 機械システム工学分野 教授）

生物のナビゲーションをシステム科学的に捉えようと、制御工学，データ科学，生態学，神経科学の専門家が結集し，新学術領域「生物移動情報学」がH28にスタートした。生物の体にロガーを取付け，回収し，行動データや生体データを解析するバイオロギングサイエンスは強力な方法の一つである。我々は，ロボットテクノロジーと環境駆動を応用し，マッコウクジラの謎に挑戦するための新しいロガーシステムを開発している。開発中のシステムを中心にこれまでの取組みを紹介する。

(2) 17:00～18:00

「MEMS技術による触覚ディスプレイ素子」

講師：峯田 貴（山形大学大学院理工学研究科 機械システム工学分野 教授）

触覚は視覚と聴覚に次ぐ情報量を検知しうる有効な手段であり，目視が困難な状況におけるハプティック情報伝達，視覚障害者への情報提示，仮想現実(VR)での現実感増大などを目指した有効なツールとして様々な触覚ディスプレイが開発されてきている。MEMS（微小電気機械システム）技術を用いた形状記憶合金(SMA)タイプ等を中心とした超薄型の触覚ディスプレイ素子の開発例と触覚提示への応用について紹介する。

参加費 無料

申込方法 申し込みは不要です。当日お気軽にお越しください。

問い合わせ先 佐川貢一 / 電話(0172)39-3691

Email: sagawa@hirosaki-u.ac.jp

2018年 弘前大学白神研究会 夏の観察会（再掲）

「白神山地 ～大川周辺の動いている地すべりの観察～」

▽と き 8月25日（土）午前10時00分～午後3時（雨天決行）

▽集 合 道の駅「津軽白神」（「ビーチ西目屋」）

駐車場（車のない方はお申し出下さい。9時弘前大学正門集合）

▽コース 大川林道終点手前サンスケ沢地すべりーナベクラ沢対岸地すべりー大川林道終点

▽参加人数 20名

▽対 象 小学4年生以上（小中学生は保護者同伴）3時間ほど歩きますので、高血圧、心臓疾患など持病のある方は、医師にご相談の上、慎重に参加ご検討下さい。

▽服装・装備 服装はハイキング用で十分です。手袋、帽子があるといいです。雨具は必ずお持ち下さい。上下別の合羽が理想的です。傘は不向きです。履き物は、トレッキングシューズ、ハイキングシューズあるいは長靴、川を渡りますのでぬれても構わない履き物で参加して下さい。虫除け、かゆみ止めをお持ち下さい。お弁当、飲み物も。

▽参加費用 1人1000円（テキスト・傷害保険代金）＊白神研究会会員の方は500円

▽主 催 弘前大学白神研究会
協 力：弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター

▽問い合わせ&申込
弘前大学農学生命科学部 白神研究会事務局：中村 Tel/Fax 0172-39-3707
E-mail：dhalma@hirosaki-u.ac.jp

▽締切日 最終申込日は8月17日（金）ですが、定員になり次第締め切ります。



弘前大学白神研究会
協力：弘前大学農学生命科学部白神自然環境研究センター

弘前大学大学院保健学研究科「平成30年度 被ばく医療研修」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学大学院保健学研究科では、本学が掲げる「放射線科学及び被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な教育研究の推進」の一環として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、平成22年度からスタートした看護師と診療放射線技師を対象とした緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修（旧名称・現職者研修）」の開催も今年で9回目となります。被ばく医療や放射線に関する知識の習得、他職種との協働を目的とした講義・演習に加え、2日目の演習では実際の被ばく事故を想定したシミュレーションを本番さながらの緊張感をもって実施いたします。

本研修は入門的内容となっておりますので、初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワーク作りに興味のある方にも大変お勧めです。どうぞお気軽にご参加ください。

【募集コース】 看護職コース / 診療放射線技師コース

【開催期間】 平成30年9月1日（土）～9月2日（日）

【開催場所】 弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66-1）

開 催 日 平成30年9月1日（土）～9月2日（日）
場 所 弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66-1）
お申込み 被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP
<http://hiroaki-hiroaki.com/kenkyu>
※参加費※授業料※テキストダウンロードしてお申し込みください
対 象 者 看護師および診療放射線技師（定員20名）
申込締切 7月16日（月・祝）17:00（申し込み受付終了）
お問い合わせ 弘前大学大学院保健学研究科 研修センター
TEL 0172-39-3707 FAX 0172-39-3708

【対象者及び募集人数】 看護職者及び診療放射線技師 合わせて20名 ※先着優先

【プログラム】 ホームページ内に掲載されているプログラムをご覧ください。

被ばく医療人材育成推進プロジェクトホームページ

(URL) <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/>

【受講料】 無料

【申込方法】 Eメールによる事前申し込みとなります。

上述サイトの特設ページからお申し込み手続きを行ってください。

【締め切り】 平成30年7月16日（月・祝） ※定員に達し次第早期締め切り

【その他】

- ・その他詳細についてはホームページをご覧ください。
- ・本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害時医療中核人材研修」とは異なりますのでご注意ください。

◎お問い合わせ先

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田, 柏村

e-mail : hh_hh@hirosaki-u.ac.jp Tel : 0172-39-5518 Fax : 0172-39-5912

平成30年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」

「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ（再掲）

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に、放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い、放射線を身近に分かりやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

【日時】 ●第7回トレーナーズトレーニング
平成30年10月27日(土), 28日(日)

【場所】弘前大学大学院保健学研究科
(青森県弘前市本町66番地1)

【テーマ】「看護職の原子力・放射線教育のための
トレーナーズトレーニング」

【対象】主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も
受講できます。(先着20名)

※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】1日目：13時30分～18時00分（会場・受付開始／13：00）

- ≪講義≫①放射線利用における看護職の役割
②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎
③放射線による健康影響とリスク

2日目：8時30分～13時00分

- ≪実習≫①自然放射線の理解
放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察
②外部被ばくに対する防護方策



放射線防護の基本となる事項（時間，遮蔽，距離）
③移動型エックス線撮影装置に対する防護方策
撮影現場における線量の把握

注）予定時間より延びることがあります。あらかじめご

了承ください。

【受講料】 無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊（2016）をテキストとして無料配布します。

【申込方法】 Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>

【主催】 公益社団法人日本アイソトープ協会

【協賛】 弘前大学大学院保健学研究科

*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」として3ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）で実施しています。

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

電話：0172-39-5518 E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

このたび、教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申込みは不要です。

日 時： 7月26日（木），9月27日（木）
14：30～15：30（時間内は出入り自由です。） ※以降の日程は調整中です。

場 所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象： 本学の教職員

参加スタッフ：室長，コーディネーター，カウンセラー，学生課職員

問い合わせ先：弘前大学学生特別支援室

T E L :0172-39-3266（内線3266）

E-meil：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

については、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いです。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>

学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

【中止】 平成30年7月19日（木）15：00～17：00

【変更】 平成30年7月20日（金）15：00～17：00

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室）TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第49号」

<http://www.janu.jp/report/koho/49gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail：jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029